

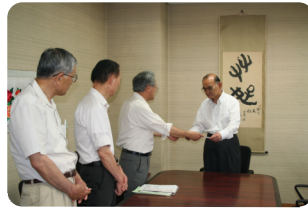
23日～30日18時～19時

# 駅前での宣伝・署名行動に参加を

6/21に教育長に提出した要請書(抜粋)を紹介します

県立高校の統廃合計画づくりをやめて  
35人学級に踏み出してください

...今年度に入り、学校名を記した計画案が発表  
することが伝えられ、多くの県民が心配してい  
ます。私たちは、以下の理由で、県教委が統廃  
合計画づくりをやめて35人学級に踏み出すこと  
などを要請します。



第1に、統廃合には根拠がないことがはっきりしたことです。

1つ目、「この10年程度は子どもは減らない」という私たちの指摘に対し  
て、県教委の担当者も「そのとおり」と答えるようになりました。

2つ目、どの府県も財政難ですが、滋賀県が全日制高校生1人あたりに使  
うお金は全国45位(992,298円 08年度)です。これでは、「子どもや教育に冷  
たい県政」と言われても仕方ありません。1つの学校をなくすことで浮くお  
金は6,000万円程度だと考えられます。5校で3億円、10校で6億円です。  
県は大企業には企業奨励金16億5000万円を出しており、予算の使い道を再検  
討すべきです。

3つ目、県は、小規模では「切磋琢磨」ができず学校の活力が失われると  
言います。しかしもともと、滋賀の高校の規模は6クラス程度で全国13位の  
大きさです。現場の教職員や親から「小規模校では子どもに丁寧に接してく  
れる」「小規模でのとりくみで退学者が減った」など「小規模校」のよさが  
たくさん報告されています。フィンランドの教育について、東大の佐藤学氏は「小規模の学校  
で...共同で集約的な学びを展開しているところに成功の秘訣がある」と述べています。



第2に、県教委が主催した「意見を聴く会」  
などで県民の意見が噴き出し、「地域の高校を  
残して欲しい」との思いが広がっていることで

6月 23日(木)彦根・犬上  
24日(金)大津  
27日(月)湖北  
28日(火)湖南・甲賀  
30日(木)八幡・東近江

彦根駅  
石山駅テラス  
長浜駅  
草津駅  
八幡駅

す。17の市町議会(87%)が、県に、統  
廃合の中止や県民合意を求める意見書  
をあげました。

いま、統廃合を進める県民合意はあ  
りません。県民が求めているのは統廃  
合ではなく35人学級です。

知事向けの署名

(ピンク色)続行中!

記

高校統廃合計画案の策定作業を止めて、高校35人学級の計画を立てて  
踏み出すこと。

高校統廃合について、父母・PTA、地域住民、教職員組合などとの  
話し合いの場を持ち、その意見を尊重すること。職員会議などでの討論  
を保障し現場教職員の意見を尊重すること。

高校教育のあり方全般について、広く県民に開かれたシンポジウムを  
開催すること。

ストップ高校統廃合 2011年度速報第4号

2011/6/23 県立高校の統廃合を考える会

077-522-4965 FAX 077-522-4978

(増し刷りして配布、回覧、また掲示板に貼るなどして下さい)